

筑摩だより

松本市立筑摩小学校

令和8年5月 発行

松本市筑摩1-8-1

電話 25-0090

今年度はCS活動がさらに充実

令和8年度がスタートして1カ月が経ちました。4月21日(火)には、全校参観日として、たくさんの保護者の方に来校し、お子さんの様子を見ていただきありがとうございました。

また、校長講話では「『やりたい』を見つけ、自分なりの方法で自ら行動する子ども」の育成を、引き続き目指す、今年度の取り組みについてお話をさせていただきました。

子どもたちの『やりたい』という気持ちを応援するためには、時には学校の力だけでなく保護者の皆様や地域の皆様のご理解とお力添えがあって実現することもあります。

その一つが、「筑摩小コミュニティースクール事業」の取り組みです。現在、松本市内のモデル校として国型制度を導入したコミュニティースクールに昨年度より移行し、学校の強力な応援隊として地域の皆様やその道のプロの皆様にご教育活動を支えていただいています。国型の大きな特徴は、校内に地域学校協働活動推進員(コーディネーター)が配置され、学校と地域が「どんな子どもを育てたいか」を共有し、これまでの支援から連携・協働へ向かっていくことであることを話し合いました。今年度はそんな関係を構築していきたいと考えています。

いろいろな経験をした子どもたちが、自分で決めて“一歩”踏み出そうとする姿を、学校と家庭で共に見守り、応援していく、そんな連携・協働関係を築いていければと願っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。



参観日の参観授業



「どんな子どもを育てたいのか」意見交換をいたしました

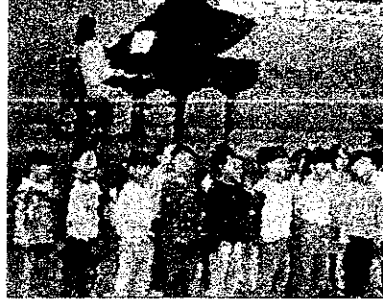


生活科や総合的な学習の時間に子どもたちの「やりたい」を応援していただいています。季節ごとの旬を五感で味わっています。



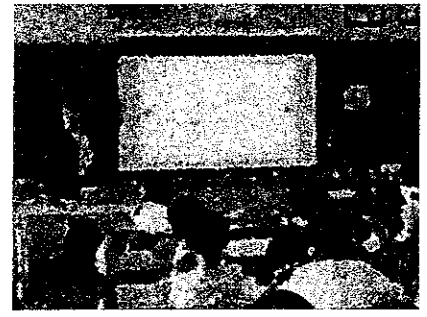
4・5月の学校の様子

4月はいろいろなスタート。教科の学習だけでなく自分の命や安全を守る学習、健康で過ごせるように検診や、生活に関わる約束を確認しあいました。また5月は児童総会があり今年度の取り組みについて話し合われたり、運動会に向け実行委員による企画準備や各学年の練習が動き出したりしました。新緑の息吹と子どもたちの活力とが合わさり、躍動的な筑摩小です。



1年生を迎える会

6年生と手をつないで1年生が入場し、2年生と6年生から歓迎の発表がありました。2年生からは1年生がこれから経験する行事や学校での出来事についての紹介と歓迎の「エピカニックス」。6年生の発表では「つかまレンジャー」と「あくあく団」が登場し大盛り上がり。みんなでクイズに正解し、あくあく団を倒しました。1年生からも元気な歌の発表があり、全校で温かな雰囲気を作ってくれた素敵な会でした。



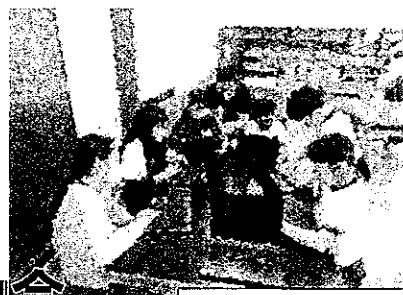
集団下校訓練

もしもの時に行う集団下校の班やその仲間を確認し合いました。みんなで声をかけあって安全に歩くようにしていきます。



4年自転車講習会

自転車は子どもたちにとって、便利で簡単に遠くに行くことのできる乗り物です。しかし、一歩間違えると、命に関わる事故につながったり、自分が起こしてしまったりします。講師の方から“見通し(予測する)”をもって乗る大切さを教えてもらいました。



5年メディア講座

インターネットは今や生活と学習の必需品。しかし、そこに潜むゲームによる依存症や犯罪など、悪影響もあることを知り、上手に活用していくことの大切さを学びました。ご家庭での約束を決めて使っていきましょう。



子どもがつくる運動会

プロジェクトを立ち上げ、企画・準備中！

運動会に向けた準備や練習が始まりました。今年は「子どもたちがつくる運動会」を目指して、「どんな運動会にしたいか」という思いを子どもたちなりに形にしながら練習を進めています。また有志のプロジェクトで開閉式の立案やプログラムづくりなど企画・準備も進められています。私たち教員も子どもたちと一緒に考えて、時には学びを深めたり、支えたりしながら取り組んでいます。自分たちで考え、決めていく活動は、慣れないうちは難しく感じることもあるようですが、自分たちで考え、つくってきた運動会に自信を持ち、充実した時間にしてほしいと願っています。保護者の皆様、地域の皆様、応援をよろしくお願いいたします！

(文責：教頭 田畑真志)